

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 地域福祉課長 石橋 達也 電話番号 0852-22-5349

事務事業の名称	被災者への支援事業	
目的	(1) 対象	被災した県民
	(2) 意図	被災者への支援により早期に生活を再建してもらう。
事業概要	災害救助法が適用される等の基準を満たした場合に、被災市町村に対して、災害援護資金の貸付を行う。 被災者の負担を軽減するため、生活福祉資金の貸付を受けた被災者に対し利子補給を行うための経費を島根県社会福祉協議会へ補助する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値						100.00
			実績値						
			達成率						%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	%	
		実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%	
		達成率		100.00	100.00	100.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	13	26,100
うち一般財源 (千円)	13	8,700

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

早期再建に向け迅速に対応できるよう、年度当初に財源措置をしている。
未償還の1名については、ご本人の生活状況に合わせた対応を検討中。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

迅速な対応ができるよう、年度当初に財源措置をした。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特になし。

②困っている状況が発生している「原因」

特になし。

③原因を解消するための「課題」

特になし。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後も年度当初に財源措置を行って、災害発生時に迅速な対応ができるよう努める。
未償還者への対応については、引き続き島根県社会福祉協議会と情報交換しながら適切に対応していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）